

令和5年度 自殺対策検討委員会 会議要旨

開催日時	令和5年8月25日(金) 19時30分～20時30分		
開催場所	霧島市役所(本庁舎) 7階701・702会議室		
出席委員	木治屋委員、山崎委員、溝口委員、竹田委員、末吉委員、林委員、竹永委員、津田和委員、亀石委員、亀澤委員、園田委員、榊委員		
事務局	【健康増進課】鮫島課長、赤水健康づくり推進グループ長、溝口主査、清水主査、藏元主事 【すこやか保健センター】大田地域保健第一グループ長、吉永主査		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	1人
議事	<p>(1) 健康きりしま21(第4次)計画の概要について</p> <p>(2) 健康きりしま21(第4次)第4章【健康づくり分野】 休養・こころの健康づくり分野について</p> <p>(3) その他</p>		
協議結果等の概要	委: 委員	事: 事務局	
	<p>(1) 健康きりしま21(第4次)計画の概要について ⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの質問、意見はなし。</p> <p>(2) 健康きりしま21(第4次)第4章【健康づくり分野】休養・こころの健康づくり分野について</p> <p>【ゲートキーパーについて】</p> <ul style="list-style-type: none">・自殺対策を支える人のセルフケアも課題であり、ゲートキーパー研修の内容にセルフケアの内容を取り入れながら実施している。参加者の理解度も高まっており、今後も継続実施していきたい。・自殺対策に関わる人、相談を受ける側として相談を受け続けた結果、自分自身の体調を崩してしまった事例もある。支援者側のセルフケアも大事なことである。・地域の身近な相談役であっても「ゲートキーパー」という言葉を知らない人もいるため、研修会に参加する機会があれば受講したい。・コロナ禍を受けて社内行事等ができず、社員がコミュニケーションをとる機会が少なくなり、メンタル面の不調を訴える社員も出てきた。普段、社員同士のコミュニケーションがとれていれば悩んでいる人にも声をかけやすい環境につながっていくと思うので、社員同士のコミュニケーションがとれる場を増やしていきたい。・悩みを抱える人に対してどんな声をかければ良いか等、学ぶ機会があれば参加したいので、研修案内等いただきたいと思う。・医療につながらない方は特に、ゲートキーパー等との連携が重要になるのではないかと考える。 <p>【子どもの自殺対策】</p> <ul style="list-style-type: none">・学校では、「心の健康観察アプリ」を導入し、子どもたちの健康状態の把握をしている。自分が悩んでいること、困っていることを直接声に出せない場合にも、アプリを通じて声をあげることができる手段のひとつでもある。		

・ゲートキーパーに関する会議を年度初めに開催し、参加者が各学校に持ち帰って校内研修等で周知する方法をとっている。

【自殺未遂者対策について】

・自殺未遂者はアフターケアが重要であると思うが、事が起こった時に緊急的に駆けつける消防隊や警察の立場からは他相談機関等につなぐタイミングが難しい状況にある。

・保健所）精神科救急指定病院との連携事業「自殺未遂者支援事業」の周知や、自殺対策に関わる方々の連絡会の開催もしながら、今後の対応や対策を考えていきたい。

【関係機関との連携】

・精神科受診につながらない方に対して、関係者の連携が十分とはいえない状況にあるのではないか。ゲートキーパーの増加も制度的に必要なことではあるが、実際に起こった事例を一例一例、どのような状況でどのような問題があって、それぞれの機関がどう動いたかなどを知りたい気持ちがある。

会議資料

【配付資料】

- 令和5年度 自殺対策検討委員会資料
- 霧島市ゲートキーパー研修
- 新自殺総合対策大綱